

ほたるっ子



磐梯第一小学校
学校だより
NO. 55
R5. 9. 7
(文責:校長 菅家 篤)

ドリーム&チャレンジ! ~あいさつ・はっぴょう・なかまとじぶん~

毎日のお弁当作り、本当にありがとうございます

おうちの人を作ってくれたお弁当を食べて笑顔になる子どもたち。

保護者の皆様には、お手間をおかけしているお弁当作りですが、子どもたちは、お弁当の時間をとても楽しみにしています。

“手間をかける”ことで、ふと思い浮かんだお話を紹介します。



上野動物園と旭山動物園の話

上野動物園には、10数年前、約450種、2800ほどの動物がいました。これを約50人の飼育係が飼育していました。とても仕事量が多いのです。そこで、餌を沢山食べるゴリラに、栄養を考えたペレットなるものを作り、与えることにしたそうです。人間で言えば、ブロックタイプやゼリータイプのバランス栄養食品のようなものです。

本来の餌をやめ、ペレットを与え始めてしばらく経った頃、ゴリラが自分の指を噛み切り始めました。そして、自分の体の毛をむしり取り始め、あっという間に毛を取ってしまったのです。

驚いた飼育係は、獣医と共に原因調べを始めました。その結果、ストレスということが分かりました。ストレスの原因は、餌として与えていたペレットにあるらしいことも分かってきました。それで、あわてて元来の餌にもどしたのです。すると、指の噛み切りをやめ、毛をむしり取ることもやめたそうです。

このことから、野生の動物は、餌を食べることに大変な努力をしている、そうしなければ生きていけない、つまり、餌を入手するには、手間ひまをかけ、努力しなければならないことに気付いたのです。ペレットを与えたのでは、何の努力も手間もいりません。ただ食べるだけです。狩りもできず、時間をもて余すこととなります。これではストレスが貯まるはずです。

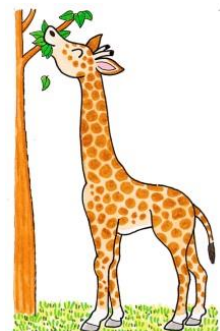
動物園では、動物のストレスを解消するため知恵をしぼっています。旭川市立旭山動物園では、この取り組みが進んでいます。

ホッキョクグマには、りんごや魚を氷で固めて与えています。1個作るのに1週間かかります。氷をかじらなければ、餌を食べられない。それで、時間もかかるし、手間もかかります。

猿には、サイコロ型の箱の中に餌を入れ、1の目が下にいけば餌が出るようにしています。知恵と手間ひまが必要なのです。

キリンには、首を伸ばせるだけ伸ばさないと餌を食べられない高い所にかごを吊り下げています。自然の状態に近いですね。

オランウータンは、高さ17メートルもの木の枝を登り、さらに20mもあるロープを伝って隣の柱の所までいかないと餌を食べられないようにしています。これで、異常行動が減ったそうです。



子どもに骨折らせること、それも「愛情」

二つの動物園の話から考えさせられるのは、子どもたちも動物と同じではないかということです。何の苦労も、努力もしないでも、教え、分からせ、理解させてくれる。食べ物も、スーパーやコンビニ、総菜屋などからできあいを買ってきて食べることができる。食べ物も、勉強も、手間ひまがかからない状態では、子どもにストレスが溜まるのではないか、という心配があります。

子どもにもう少し骨折らせなくてはなりません。これも一つの「愛情」ではないでしょうか。子どもに対する愛情があるならば、もっと子どもを鍛えることが必要ではないかと思えます。